

令和3（2021）年度第二期募集のオンライン実施について

2020年12月15日 東北大学公共政策大学院

募集要項でもご案内した通り、新型コロナウイルス感染症をめぐる社会状況等諸般の事情を考慮し、令和3（2021）年度第二期募集は、小論文試験・口述試験の両方を含む全ての過程をオンラインで実施する方法にいたします。

現下の状況に照らして、受験のための移動時や会場での試験実施時における感染リスク、感染防止対策に要する身体的・精神的負担等を重く考慮し、選考方法を決定することにいたしました。

試験の実施について、現段階では以下のように計画しています。詳細は、出願手続の完了後、受験票の発送時に（令和3（2021）年1月上旬予定）、書面およびメールにてあらためてお伝えします。確実にご連絡できるよう、入学願書の欄外などにメールアドレスを記載しておいて下さい。

1. 小論文試験

1月14日（木）9時に、電子メール等の手段で、小論文問題を出題します。例年通り四題の中から一つを選び、wordファイルで作成して、オンラインで提出する形式となります。提出期限は、1月15日（金）16時とします。小論文作成にあたり、インターネットを含む参考資料を閲覧することは妨げませんが、例年の選考方法に倣って1時間30分で執筆する分量を想定し、文字数の上限を概ね5000字とします。

2. 口述試験

1月16日（土）10時～17時の間で、50分間の口述試験を実施する予定です。口述試験では原則としてZoomを使用します。受験者本人以外に誰も入ってこない個室、光回線等の高速ネットワーク環境、カメラ・マイク付きPC、緊急連絡用の携帯電話が必要となりますので、受験者の責任において用意して下さいますようお願いいたします。

口述試験の時間やZoom会議室URLは、受験票の発送時に、書面およびメールにてお伝えします。試験当日までに、事前の接続確認（PCでのZoom接続、携帯電話の確認等）を行う機会を設けますが、その詳細も、受験票の発送時に、あらためてお伝えします。

3. オンライン実施に関する質問

以上について、令和2（2020）年12月19日（土）15時00分および12月23日（水）12時00分から、それぞれ実施される入試説明会で説明し、ご質問をお受けします。さらにご質問がある場合には、東北大学法学部・法学研究科専門職大学院係（contact@publicpolicy.law.tohoku.ac.jp）にご連絡下さい。

以上